

可能性を引き出していると思っています。しかし、実態としては理解するまでに至っていない職員も少なからずいる事が、今回の事件で明確になり、学校における体罰(虐待)の問題の深刻さ、根深さを指摘せざるを得ません。

また、今回の事件では大阪府教育庁からの報道発表でなく、外部からの指摘により発見されたと捉えています。大阪府ならびに大阪府教育庁が事態を把握するに至った時期、経緯については明らかではありませんが、大阪府教育庁への通報や報告がされていなかった、もしくは遅れたこと、学校内部で発見できなかったことに遺憾の意を示さざるをえません。今後は、このような事件の再発を未然に防ぎ、事実を不可視化させないためにも、障害者虐待防止法の見直しに当たっては、通報義務の対象として学校等を含めることを、全国手をつなぐ育成会連合会と連携し、より積極的に働きかけたいと考えます。

被害を受けられた生徒ならびにご家族の皆さまの悔しさは言葉に表すことができないくらいであると想像します。暴言や体罰を行った6名の教員には心から反省していただくとともに、生徒ならびにご家族の皆さまへの謝罪を含め、誠意ある対応を望みます。

また、教育行政を統括する文部科学省、障がい者福祉を所管する厚生労働省、学校設置者である大阪府ならびに大阪府教育庁におかれましては、本事件を教訓として、再発防止のための措置など、積極的に取り組みを進めることを強く求めます。

### 神奈川県立津久井やまゆり園での事件を受けて 大阪市に申し入れを行いました

理事長 小泉 いと子

平成28年7月26日未明、神奈川県立津久井やまゆり園で、障がいのある方19人が命を奪われ、27人の方が負傷する事件がありました。

大阪市育成会では、事件の調査結果や検討経過を元に、市内にお住まいの障がいのある方が安心して過ごすことができる市民安全施策の強化と、再発防止策の検討、関係団体と連携した普及啓発の充実を、大阪市長宛に事件から1ヶ月となる8月26日に申し入れを行ってまいりました。



### 【参照：申入書本文】

平成28年8月26日

大阪市長 吉村 洋文 様

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会  
理事長 小泉 いと子

神奈川県立津久井やまゆり園での  
事件を受けての申入書

平成28年7月26日未明、神奈川県相模原市緑区の障害者支援施設「神奈川県立津久井やまゆり園」(指定管理者：社会福祉法人かながわ共同会)において、施設入所支援を利用する障がいのある方々が襲われ、19人が命を奪われ、20人以上が負傷する事件が発生しました。

今回の事件は、職員体制の薄い時間帯を狙い、抵抗することが困難な障がいのある人を標的とした計画的かつ凶悪残忍な犯行であり、到底許すことはできません。

また、事業所関係者のみならず、多くの障がいのある方やご家族、福祉関係者を不安に陥れ、深く大きな傷を負わせました。このような事件が二度と起きないよう、事件の背景を徹底的に究明することが必要と考えます。

今後、厚生労働省をはじめ神奈川県等では、事件の背景・原因・内容について調査ならびに検討が進められることになるかと思えます。大阪市としては、所管する事業所への教訓とするため、調査結果や検討経過等といった情報の開示を、関係省庁に対して積極的に働きかけてください。

併せて事件の再発防止の観点から、障がい児・者施設、障害福祉サービス事業所、福祉的配慮を要する人が集まる場所や学校園においては、緊急事態発生時に最寄りの警察署や消防署に対し、迅速に連絡をすることができる手段があれば、市民としては安心して利用することが可能となり、設置者としては安全なサービス提供が可能となりますので、早急にシステム構築に向けて検討をお願い致します。

さらには、市民の皆様に向け、今回の事件を機に、障がいの有る無しに関わらず、人間一人ひとりの命の重さについて、改めて普及啓発に努めていただきますようお願い致します。そして、障がいの有る無しで特別視されることなく、お互いに人格と個性を尊重しながら共生する社会づくりに向け、今まで以上に関係団体と連携していただきますようお願い申し上げます。